

# こども未来部長目標

## ● こども未来部長 町田 真治(まちだ しんじ)



### ● 当部の仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



### ● ゼロカーボンシティ実現に向けた当部の方針

2050年のゼロカーボンシティ実現に向け、関連する施設への再生可能エネルギーや環境負荷の少ない機器の導入を推進するとともに、未来を担う子どもたちに対する環境教育を進めてまいります。

### ● こども未来部の仕事

こども未来部は、こども政策課、こども支援課、こども福祉課、青少年課、保育幼稚園課の5課で構成され、子育て家庭への経済的支援、子どもに関する相談、放課後児童対策、保育園・幼稚園等に関すること、就学前の障害児が通う施設及びこども支援センターの運営などを行っています。

### ● こども未来部の令和4年度の目標

こども未来部は、子どもの最善の利益を実現するために、大きく変わりつつある子育て環境への対応を踏まえ、「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、親子の絆を深める切れ目のない子育て支援、特に寄り添いや支え合いが必要な子育て家庭の支援、保育園や児童クラブの待機児童対策などをすすめてまいります。

● 目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	親子の絆を深める切れ目のない子育て支援に関する事業	<p>・健康推進部及び教育総務部との連携により、本とふれあうことで親子の絆を深め、孤立しがちな親子へ支援を行うため、「ところっこ親子ふれあい絵本事業」を実施します。</p> <p>・家庭や地域における子育ての不安や悩みに対応するため、こども支援センターなどにおいて、「地域子育て支援拠点事業」「ところっこ子育てサポート事業」を実施します。</p>	<p>・約 2,200 組の親子に対し、健診時に読み聞かせと絵本の引き換えチケットの配布を行い、図書館や子育て支援施設で絵本と交換していただくことで利用につなげていきます。</p> <p>・関係機関との調整などを行いながら、保護者が地域で身近に相談できる場の提供や妊娠期から子育て期まで切れ目のない寄り添った支援をします。(ところっこ子育てサポート事業相談件数(基本型・特定型)の目標値 900 件)</p>	<p>・1 歳 6 か月児健診時に希望した親子(1,149 組)に読み聞かせを行いました。また、絵本の引き換えチケットを配布し、図書館や子育て支援施設での絵本の交換(764 冊)により、施設の利用につなげました。</p> <p>・子育てについて身近に相談できる場を提供し、保健センターや地域子育て支援センターなどの関係機関と連携して、子育てに関する情報の集約を行いながら、相談者の悩みに寄り添った丁寧な支援を実施しました。 相談件数(基本型・特定型)1,137 件</p>

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
2	特に寄り添いや支え合いが必要な子育て家庭の支援に関する事業	<p>・令和4年4月1日にこども相談センターに子ども家庭総合支援拠点を設置。引き続き、子どもに関するさまざまな相談をお受けし、適切に対応いたします。相談内容によっては、関係機関と連携して効果的な支援を行います。</p> <p>・こども支援センター発達支援事業において、相談支援、子どもの特性に応じた通所支援、研修・啓発などの地域支援を行います。</p> <p>・低所得世帯及び多子世帯に対し、幼稚園等に就園するための費用の一部を補助することにより、幼児教育の振興を図ります。</p>	<p>・0歳から18歳未満の児童、保護者及び関係者等から寄せられる、多岐にわたる相談に対応します。(目標値 900件)</p> <p>・こども支援センター発達支援事業の利用者満足度(アンケートで「満足している」と回答する人の割合)について、100%を目指します。</p> <p>・私立幼稚園及び幼稚園類似施設に在園する児童の保護者に対し、所得及び各世帯の兄弟区分に応じて補助金を交付します。(目標値 230件)</p>	<p>・18歳未満の児童、保護者及び関係者等からのさまざまな相談に対応しました。必要に応じて関係機関と連携を図り児童及びその家庭の福祉の向上に努めました。</p> <p>相談件数:928件。</p> <p>・こども支援センター発達支援事業の利用者満足度(アンケートで「満足している」と回答する人の割合)は95.9%でした。</p> <p>・私立幼稚園及び幼稚園類似施設に在園する児童の保護者、前期(R4.4~8)197人、後期(R4.9~R5.3)235人に対し、補助金を交付しました。</p>

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
3	子ども・子育て支援事業計画の推進に関する事業	<p>・保育の待機児童を解消し、必要な家庭が教育・保育を利用できるよう、需給バランスを踏まえて定員を拡大します。</p> <p>・放課後児童クラブの狭隘化や大規模化の解消を図るため、学校施設の活用などにより、定員を拡大します。</p> <p>・最前線で働く民間保育園の保育士や新制度幼稚園の教諭、児童クラブの支援員の処遇を改善します。</p>	<p>・既存施設の定員変更等により定員を拡大するとともに、必要に応じて地域型保育所の新設を検討します。</p> <p>・教育委員会と連携し、小学校4校(小手指・上新井・北秋津・中富小)の教室等を改修し、合計135人分の定員を拡大します。</p> <p>・保育士等処遇改善臨時特例交付金等を活用し、保育士や児童クラブで働く支援員の処遇を改善します。</p>	<p>・令和5年4月1日新たに地域型保育所(定員47名)を開設するため準備を進めました。</p> <p>・計画していた上新井・北秋津・中富児童クラブの施設整備を行いました。また、民設民営児童クラブの新設や支援単位を増やすことにより、定員増を図りました。(定員増の合計170人分)</p> <p>・保育士等処遇改善臨時特例交付金を活用して保育事業者等へ補助金を交付し、保育士や児童クラブで働く支援員の賃金改善を図りました。</p>